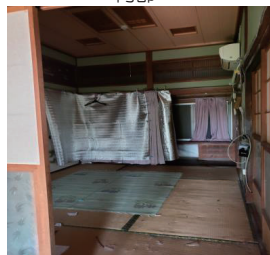


リフォーム前

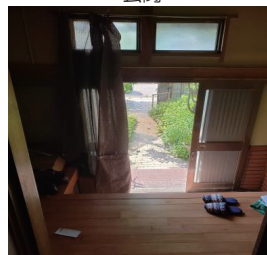
築90年の伝統工法（石場立て工法）造りで、築40年程の在来工法が増築された混構造の建物であった

改修前は、一部の白蟻被害と古民家特有の建物の倒れや沈下が見受けられたため、それらの修繕も必要な状態であった。

内部



玄関



外観



施主は、首都圏から移住してこられたご夫婦。

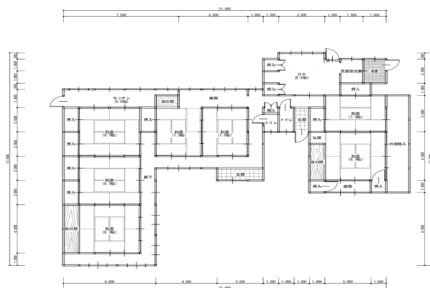
“昔ながらの和風建築に現代の価値を付加した建物でのプライベートサウナ付きの民泊を構えたい”

“居住部分である本宅と宿泊者用である民泊部分と

を各々独立させながらも、建物自体は一体化し、住まいでの暮らしを叶えたい”

とのビジョンであったため、これらの実現を目指した。

改修前平面図



リフォーム後

<本宅部分>

多用途なエントランス



対面キッチン



間接照明を用いた洗面化粧台



光と風を採り入れたリビング



全体の外観については、和風建築の雰囲気を残しつつも、新規外壁は杉板を使用し、既存の外壁とも違和感が生じないよう仕上げた。本宅部分の内部の壁については、白系のクロスで統一し、天井や建具には木を用いながら、床材は石目調のフロアタイルを施すことで、和モダンの雰囲気を実現した。また、リビングには、掃出しサッシ及びFixサッシを新たに設置することにより、開放的な空間を演出すると同時に、ウッドデッキとの一体的な利用を可能とした。尚、テレビ背面壁には、自然石タイルを埋め込み、アクセントをつけることで、伝統的な日本家屋の雰囲気を感じつつ、異国感を彷彿させるような非日常感を図った。

<民泊部分>

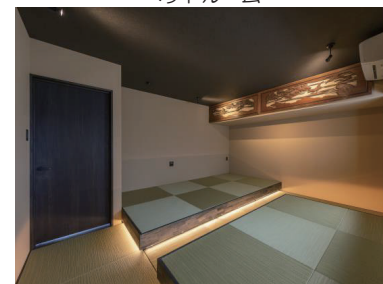
玄関



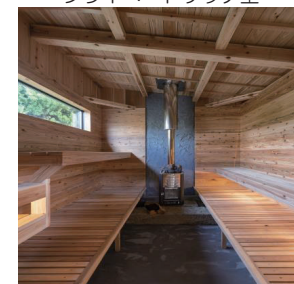
客室



ベッドルーム



プライベートサウナ室



改修後平面図



民泊部分の内部の壁についても、本宅部分同様の雰囲気では仕上げ、客室の一部とベッドルームは畳を敷き、ゆっくりとくつろげる空間とした。

客間の天井においては、梁を全面的にあらわにすることで、開放感と梁の存在感を強調し、日本人観光客だけでなく、外国の観光客の方々にも視覚的に日本家屋の魅力を感じられるよう考慮した。

加えて、民泊部分裏手にはプライベートサウナを新設。

桜島が非常に近い場所に立地していることから、絶好のロケーションであることを生かし、サウナに入りながら、桜島の雄大な景色を眺められるように配置している。

また、隣接する整いスペースからは夕陽を目にすることができる空間作りとしている。

応募者・施工者

(株)建築工房
Work・Space

設計者

(株)建築工房 Work・Space
大城 孝太

築年数

90年

構造

木造

建方形式

平屋

竣工

令和6年3月

工事期間

150日間

工事費

2,500万

所在地

鹿児島市

リフォーム内容

内部全面及び外部一部改修工事